

大和郡山市パートナーシップ宣誓制度を導入しています



性的マイノリティであるカップルが、互いを人生のパートナーとし日常生活において、経済的、物理的、精神的に協力し合うことを約束した関係であることを宣誓した事実に対し、市長が証明する制度です



問 人権施策推進課（内線332）

市からのお知らせをLINEでお届け

大和郡山市
LINE 公式アカウント

- 暮らしに役立つ最新情報が手元に届く!!
- 受信設定で、興味のある情報を選んで受け取れる♪

友だち追加は
こちらから！

問 企画政策課（内線246）



市長てくてく城下町 233

秀長百万石まつり

～秀長くんと過ごした日々～

大和郡市長 上田 清

来年の「豊臣兄弟！」からちょうど30年前のNHKの大河ドラマは「秀吉」で、秀吉を主人公とする作品は昭和40(1965)年の「太閤記」以来、31年ぶりだったそうです。周期でもあるのでしょうか。

秀吉役は竹中直人さんで、天下人秀吉の生涯を人間味豊かに演じるとともに、決めぜりふの「心配御無用」はその年の流行語になりました。

一方、ドラマでは秀長(小一郎・高嶋政伸さん)と家族にも光が当てられましたが、秀長や母・なか(大政所)が亡くなる時点でドラマは終了。

後に竹中直人さんは「天下を取った後の墮(お)ちてゆく秀吉を演じたかった」と語っています。

大河ドラマ「秀吉」が放映された平成8(1996)年、本市は秀長ゆかりのまちとして大いに盛り上がり、延べ5,000人以上の市民ボランティア参加のもと、3月から6月にかけて100日間にわたる『秀長百万石まつり』が行われ、郡山城跡の市民会館(城址会館)や追手門周辺の会場は、期間中約15万人の来場者で大いに賑わったそうです。

百万石まつりの経過と写真などをまとめた冊子『秀長くんと過ごした日々』によれば、実行委員会の名誉会長は「大和大納言豊臣秀長」で、冒頭の「ごあいさつ」では、まつりの成功に対し「私のころからの陽気な働き者の気質もまた400年後の今日に至るまでしっかり残っていたんだと実感しました」と述べて(述べさせて?)います。「秀長くん」の着ぐるみも好評でした。

まつりの会場について秀長名誉会長いわく。

会場は、私がかつて居城としていた郡山城跡です。ここでは「秀長・秀吉おもしろ館」「大和郡山ゆかりの人物館」「秀長とNHK大河ドラマ館」をはじめ…「六斎市」「フードコート」などが設けられ…「百万石郵便局」「JA青空市」なども大変好評でした。

さて、それから来年で30年。それこそ「陽気な働き者」の気質を存分に発揮し、意義深い1年にしていこうではありませんか。